

とよさと

TOYOSATO ASSEMBLY

議会だより



日栄小学校のプール開き

安全・安心なまちづくりをめざして

6月定例会

補正予算・同意案件	2p
常任委員会報告	4p
本会議の審議結果	6p
会議等出欠状況	7p
7議員が一般質問	8p
パストラールとよさと	16p
農事組合法人 楽農ファーム吉田		

9月定例会は
9月5日(火)
開催予定です

第70号

2017年8月10日

江州音頭発祥の地

農業委員会委員 賛成多数で同意

〈任期〉
平成29年7月20日
～32年7月19日



西山 武氏



北村 繁太郎氏



上田 辰夫氏



藤野 総五郎氏



森 久仁彦氏



大橋 健治氏



田中 正剛氏



古川 傳次郎氏



西山 肇氏



田中 良典氏



田中 弘次氏



長谷川 光政氏



大村 利秋氏



北田 一也氏

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員の選出方法が公選制から議会の同意を得て町長が任命する任命制となりました。

農業委員会法では農業委員の過半数を認定農業者で占めなければならないとなっていますが、公募の結果過半数を超えなかったため、農業委員会委

員の少なくとも4分の1を認定農業者等または認定農業者等に準ずる者とするということについて同意案件が提案され、賛成多数で同意しました。

その後、14名の同意案件が提案され、賛成多数で同意しました。

平成29年度豊郷町 一般会計補正予算(第1号) 賛成多数で可決

**6月
定例会**
6月5日～15日

豊栄のさと駐車場拡張整備事業 5,876万7千円



買収を行った駐車場の南側4,505㎡について、約50mの埋め立て工事を行う。舗装については自然転圧後に行う予定。

○6月定例会を、6月5日から15日の会期で開催しました。

○町長から提案された案件は13件(内訳は専決処分2件、同意1件、条例2件、補正予算6件、その他2件)でした。専決処分や条例など10件を委員会に付託しました。

○一般質問は6月6日、7議員が行いました。

○6月定例会は、最終日(6月15日)条例改正など議案24件を採決し、閉会しました。

《選出》

滋賀県後期高齢者 広域連合議会議員

〈任期〉
平成29年6月5日
～31年11月13日



中島 政幸 議員

常任委員会の報告

予算決算常任委員会 6月7日

議第33号 平成29年度豊郷町一般会計補正予算(第1号)

総務課

歳入 一般寄附金の内容、豊栄のさと管理基金繰入金残額

歳出 一般管理費の報償費で勤務活動費の内訳と必要性、前年度までの運転手の時間外の対応

企画振興課

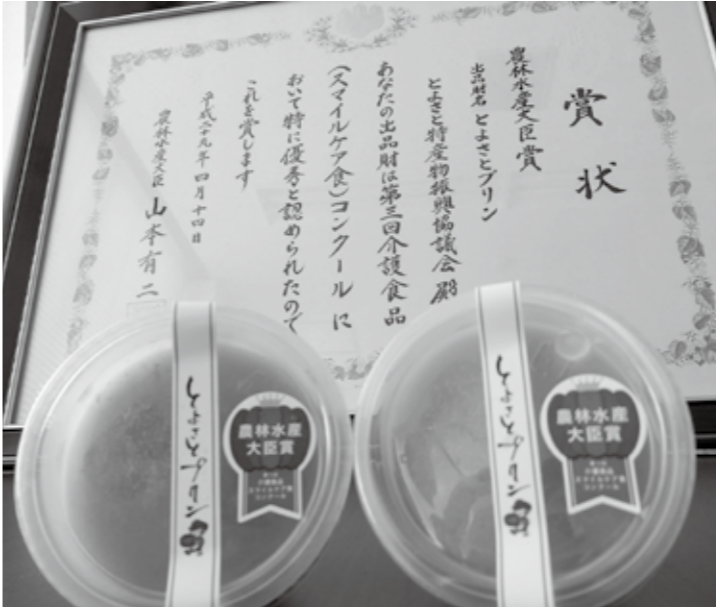
歳入 雑入の一般コミュニティ助成事業の申請の流れと申請した字について

歳出 地域づくり推進事業費

の字からの申請内容

産業振興課

歳入 農林水産業費県補助金



農林水産大臣賞を受賞したとよさとプリン

の経営体育成支援事業費補助金の助成内容

歳出

とよさと特産物振興協議会補助金の内容と費用対効果、いきがい協働センター施設費の消防設備保守点検委託料の内容、観光費のシステム保守委

託料の内容と実績

人権政策課

歳出

公営住宅管理費の施設整備費で電気代の他の住宅との比較と増額の経緯について、改良住宅管理費の登記委託料の内訳

教育委員会総務課・学校教育課関係

歳出

豊郷小学校管理費・日栄小学校管理費の修繕料の内訳

社会教育課

歳出

豊栄のさと施設費の駐車場拡張工事の工事内容、雨水対策について、敷地内の安全管理について、隣地の所有者と協議はできているのか、隣地との境界の雑草管理につ

いて質疑されました。質疑終了後、反対討論があり、賛成多数で可決

しました。反対討論(今村議員)採決結果(可81否2)



総務産業建設常任委員会 6月8日

議第26号 専決処分につき承認を求めることについて(豊郷町条例の一部を改正する条例)

改正箇所の概略説明と町に關係する部分および軽自動車税の軽減期間が延長となる対象件数について質疑されました。

質疑終了後、反対討論があり、賛成多数で承認しました。

反対討論(今村)

採決結果(可31否1)

議第27号 専決処分につき承認を求めることについて(豊郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例)

国保の軽減世帯数の割合について質疑されました。

質疑終了後、討論はなく、全員賛成で承認しました。

議第31号 豊郷町行政手

続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案

質疑はなく、反対討論があり、賛成多数で可決しました。

反対討論(今村)

採決結果(可31否1)

議第32号 豊郷町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案

扶養手当の改正にかかる対象者の増減について質疑されました。

質疑終了後、討論はなく、全員賛成で可決しました。

議第35号 平成29年度豊郷町下水道事業特別会計補正予算(第1号)



下水道の敷設がえ後の舗装復旧工事予定箇所

歳入

一般管理費の臨時職員賃金の内容について質疑されました。

質疑終了後、討論はなく、全員賛成で可決しました。

議第38号 平成29年度豊郷町水道事業会計補正予算(第1号)

営業外収益の補助金の内容

歳出

総係費で人件費を一般会計から補てんする根拠について質疑されました。

質疑終了後、討論はなく、全員賛成で可決しました。

文教民生常任委員会 6月9日

議第34号 平成29年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

国保の広域化の今年度のスケジュールについて質疑されました。

質疑終了後、討論はなく、全員賛成で可決しました。

議第36号 平成29年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

総合相談支援事業・権利擁護事業費の内訳、来年度の介護保険料の改定に向けての計画について質疑されました。

質疑終了後、討論はなく、全員賛成で可決しました。

議第37号 平成29年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

一般管理費の減額理由と県下で医療費が高



い理由について質疑されました。質疑終了後、討論はなく、賛成多数で可決しました。採決結果(可41否1)

平成29年6月定例会		議員名											結果
		中島	村岸	高橋	前田	北川	西澤博	鈴木	佐々木	河合	今村	西澤き	
議第43号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第44号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第45号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第46号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第47号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第48号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第49号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第50号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第51号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第52号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意

(○は賛成、◎は賛成討論を行った、×は反対、☒は反対討論を行った。議長は可否同数の場合のみ裁決に加わる)

委員会等の出欠状況

日付	会議	議員名										
		中島	村岸	高橋	前田	北川	西澤博	鈴木	佐々木	河合	今村	西澤き
5月30日	議会議員全員協議会	出	出	出	出	出	出	出	出	欠	出	出
6月5日	第2回定例会(開会)	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6月6日	第2回定例会(一般質問)	出	出	出	出	出	出	出	出	欠	出	出
6月7日	予算決算常任委員会	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
6月8日	総務産業建設常任委員会	-	出	出	出	-	-	-	-	-	出	出
6月9日	文教民生常任委員会	出	-	-	-	出	出	出	出	出	-	-
6月15日	第2回定例会(閉会)	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出

注1 「出」は出席、「欠」は欠席です。注2 委員会は、所属する委員のみあらわしており、「-」は出席の必要はありません。

議決の結果

平成29年6月定例会		議員名											結果
		中島	村岸	高橋	前田	北川	西澤博	鈴木	佐々木	河合	今村	西澤き	
議第26号	専決処分につき承認を求めることについて (豊郷町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	×	○	×	☒		承認
議第27号	専決処分につき承認を求めることについて (豊郷町国民健康保険税条例の一部を改正 する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		承認
議第28号	平成28年度豊郷町一般会計繰越明許費繰 越計算書について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		報告
議第29号	平成28年度豊郷町下水道事業特別会計繰 越明許費繰越計算書について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		報告
議第30号	豊郷町農業委員会委員の少なくとも4分の 1を認定農業者等または認定農業者等に準 ずる者とするにつき同意を求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		同意
議第31号	豊郷町行政手続における特定の個人を識別 するための番号の利用等に関する法律に基 づく個人番号の利用および特定個人情報の 提供に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	×	○	×	☒		可決
議第32号	豊郷町消防団員等公務災害補償条例の一部 を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議第33号	平成29年度豊郷町一般会計補正予算(第1 号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	☒		可決
議第34号	平成29年度豊郷町国民健康保険事業特別 会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議第35号	平成29年度豊郷町下水道事業特別会計補 正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議第36号	平成29年度豊郷町介護保険事業特別会計 補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議第37号	平成29年度豊郷町後期高齢者医療事業特 別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×		可決
議第38号	平成29年度豊郷町水道事業会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議第39号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第40号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第41号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意
議第42号	豊郷町農業委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	棄権		同意



ズバリ！ 町政を問う

6月定例会一般質問

- 中島 政幸 議員
ふるさと納税寄附金の活用を問う…………… 9p
- 鈴木 べんいち 議員
副町長の選任はどうなったのか…………… 10p
バンガローの解体は
- 西澤 博一 議員
認知症徘徊対策を問う…………… 11p
- 北川 かずとし 議員
区長への区民情報の開示について…………… 12p
大町区に対する対応について
- 村岸 善一 議員
ふるさと納税返礼品を問う…………… 13p
いきがい協働センターの活用を問う
- 前田 広幸 議員
「ご当地モノ」を活用した町のPRを…………… 14p
- 今村 恵美子 議員
誰もが受けられる介護保険サービスを…………… 15p
町民の福祉、暮らし充実の町財政運営を

ふるさと納税寄附金の活用を問う

地域の活性化には大変必要なもの

ます。1億2億3億円になつてくれば、しっかりとそういったものの計画

もたてられます。しっかり先を見通して行政運営していかなければならないと思いますのでご理解の程、宜しくお願い致します。

他に次の質問をしました。
・空き家対策の現状と今後の予定は



中島 政幸 議員

質問 ふるさと納税の寄附額と活用事業について以下の点について答弁を求めます。

- ①各事業所への活用する金額と自治体にお任せ分の活用について
- ②ふるさと納税の今後の目標額は
- ③子育て支援および福祉に関する寄附額が多い結果となっている、保育料完全無料化・幼稚園、小中学校の給食費の無料化・多子世帯への支援・出産祝い金第3子以降を10万円にするなどを考えるが、それぞれ実施した場合の費用と今後の予定について答弁を求めます。

企画振興課長 昨年寄附額を今年度各分野に充当しており、返礼金や広報の充実を図りさらに多くの寄附が頂けるよう努力いたします。

教育次長 現在のところ、保育料、給食費の無料化、支援等は考えていない。

再質問 既存事業にスライドし寄附金を充てるというのはナセンス、新規事業を考えると寄附金を投入する、寄附額1億円を目指せば前年度按分比率で、子育て支援が約3,300万円、自治体にお任せが約4,200万円となり保育料、給食費の無料化や高

企画振興課長 上向きに寄附金を増額で補正できるような考えております。

再々質問 寄附額を何に充てるかを設定しないと既存事業へのスライド当ではめになつてしまう、豊郷町はあなたの寄附金がいかに使われていますと形ですが、もう一度お聞きしますが、今後検討する余地はあるのか。

町長 地域の活性化にはふるさと納税は大変必要なものであり





鈴木 べんいち 議員

副町長の選任はどうなったのか

提案するにいたらず

質問 村西前副町長の3月末での退任にあたり、3月議会での質問の中で町長は、副町長について「新しい人材の発掘も。その時は、6月議会にでも」と答弁しているが、その後どうなったのか、明らかにされたい。

町長 副町長の選任についてですが、提案するにいたらなかったという事でございます。

再質問 4年前に副町長の選任議案が提案された際に、私は、①豊郷町にどうしても副町長をおかなければならない理由がない事、②副町長の給与が約500万円になり、その分で大卒の新規採用者が2名出来る事、③3月に定年退職する方が、誰であれ副町長に就任する事は、町民から見ればやっぱり「天下り」だと考え、町民の理解が得られない事から副町長の選任に反対したが、今もその立場は変わっていない。

先ほどの答弁は人選にいたらずとの事であったが、これからも人選を進めるのかどうか。

町長 私は、副町長は必要だと思っております。

再々質問 この際、副町長の選任を止めて、副町長の人件費約500万円を一人親世帯に対する給付型大学奨学金制度創設のための基金に積み立て、有効に活用していくことを考えたらどうか。

町長 ご意見として、鈴木議員の考えは聞いておきます。

バンガローの解体は

解体するようには向いている

質問 これまで、「バンガローは解体する。」と何度も議会で答弁しているが、どうなっているのか。

社会教育課長 本年度末か来年度に取り壊す計画です。跡地利用については現在、協議中です。

再質問 なぜ、これまで解体できなかったのか。理由を明らかにされたい。

社会教育課長 跡地利用がはっきりしないという事で（庁内で）予算がつかなかった。

再々質問 バンガローの解体をどうするのか、教育長に答弁を求めます。

教育長 解体するようには向けています。



西澤 博一 議員

認知症徘徊対策を問う

6町の思いが1つになれば 県要望を行いたい

質問

認知症対策は喫緊に取り組む課題であり、近隣の市町村等と連携して取り組むべきであるが、以下の点について答弁を求める。
①認知症対策は行政としてどのような位置づけをされているのか。
②認知症の方が徘徊された事例とこれまで取り組んでいるのか。

認知症対策は喫緊に取り組む課題であり、近隣の市町村等と連携して取り組むべきであるが、以下の点について答弁を求める。

医療保険課長

①地域支援事業の重要施策の1つと捉え、愛犬4町が豊郷病院と協力し、認知症の啓発や認知症で悩んでおられる方、ご家族の方々への相談やサービスの提供を実施

①地域支援事業の重要施策の1つと捉え、愛犬4町が豊郷病院と協力し、認知症の啓発や認知症で悩んでおられる方、ご家族の方々への相談やサービスの提供を実施

再質問

総合警備保障のみまもりタグを活用した日常徘徊対策を講じている先進地事例があるが、町としてそういった対応をする意思はあるのか。また、予算計上について考えを持っているのか、答弁を求める。

医療保険課長

今年度ご要望があればということですが、GPS 3台分のレンタル料を予算計上しました。3万1,000円で3台という予算を計上しています。

再々質問

全国に約2万人の方が徘徊をされていると聞いています。広域でやるべきことだと思いますが、県の方への要望等について、町長の答弁を求めます。

町長

現在県要望に向けて福祉医療部会の方で各町担当課長が議論をしている最中で、6町の思いが1つになれば県要望もやってみようという思いです。

他に次の質問をしました。
・町史編集事業の進捗状況は
・首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」における本町のPRについて





北川 かずとし 議員



村岸 善一 議員

区長への区民情報の開示について

本人の了解が得られない場合、開示できない

質問 各字で区民の把握が困難になつてきている状況があるため、区長の要請があれば、区に入つておられる方の情報の開示をすることはできないか、答弁を求めらる。

住民生活課長 町では転入等とともに区への加入を勧めており、区長への通知も承諾をお願いしています。しかし、個人情報保護法により、本人の了解が得られない場合には情報を開示することはできません。

再質問 自治会が把握できているというの、今の現状だと思います。自治会が困っている場合には協力をどこまでやるのか。

住民生活課長 本人の同意が前提となり、これも窓口や広報の方で、

大町区に対する対応について

よきアドバイスに努めたい

質問 平成28年度から大町区が休止状態となっているが、区の再生に向けて町はどういう対応を行ってきたのか、また、今後どういう

質問 平成28年度から大町区が休止状態となっているが、区の再生に向けて町はどういう対応を行ってきたのか、また、今後どういう

区への加入について啓発をさせていただきます。



人権政策課長 大町区が平成28年度から区長以下役員が不在となっております。4月当初に隣組組長がいないうこと、住民生活に多大な影響を及ぼしかねないことから、輪番を調査をした上、次の組長の方に組長をもつていただけるようお願いをしたところ、大半の方が同意をいただいで、組長の役目を果たしていただいています。しかし、何とかしなければというところで、住民の方から多くの声が寄せられているところ、4月28日から5月19日にかけてセンタ

働きかけをしていくのか、答弁を求めらる。
1長名で住民アンケートを実施しました。その結果、大町区として把握している世帯数のうち、アンケートに回答していただいた方が約30%、そのうち75%が大町区の活動を再開してほしいと回答された。
町ができることは限られていますが、今後、さらなるよきアドバイスに努めたいと考えております。
他に次の質問をしました。
・学力向上に向けた取組について
・農耕作業用自動車のナンバー登録について
・町有地の空き地・ゴミステーションの管理について

ふるさと納税返礼品を問う

宣伝方法を考え拡大につなげる

質問 ①「とよさとプリン」の農林水産大臣賞受賞の経緯と今後の販売拡大方法について。

②返礼品は何品目か。
③品目ごとの返礼品業者の参加件数は。
④平成28年度の返礼品目ごとの割合は。
⑤返礼品に対してのクレームはなかったのか。

産業振興課長

①色味がよく、飲み込むことが困難な方も食べる意欲がでる商品であり、6次産業化の取り組みについても評価された。今後は受賞をアピールするためにラベルシールなどを作成し、販売拡大につなげていきたい。

企画振興課長 ②現在は79品目。
③同じ種類の返礼品の提供は3品目で、近江米6社、近江牛3社、地酒2社。
④近江米で50%、近江牛で22%、その他は1桁台。
⑤返礼品発送の委託業者にコールセンターを設置しており、そこで全て対応している。28年度は130件の問い合わせがあり、全て解決している。



坊ちゃんかぼちゃの現地研修

いきがい協働センターの活用を問う

高齢者等が活躍できる場をふやしていきたい

質問 ①現在の利用状況は。
②設置に関する条例第3条の事業の実施状況は。
③職員は何名か。
④農産物の仕入等はどうなっているのか。
⑤今後の活用について。

産業振興課長 ①毎月第2、第3、第4水曜日の坊ちゃんカフェや、農産物の加工に利用している。
②高齢者の生きがい活動事業では坊ちゃんカフェを開催し、多世代交流による地域の伝統の継承事業では、世代間交流を目的とした料理教室を開催している。地域素材を活用した特産品開発事業では、とよ坊かぼちゃの加工品



いきがい協働センター講座

の開発を行い、その他センターの設置目的を達成するために必要な事業では加工室を開放している。
③常勤1名と非常勤1名。
④会員から仕入れ、足りないものはスーパー等で購入。
⑤とよさとプリンに負けない新商品の開発、PRを行い、高齢者等の活躍できる場を増やしていく。



今村 恵美子 議員



前田 広幸 議員

誰もが受けられる介護保険サービスを

国の制度に合わせて進めます



医療保険課長

国の介護
保険事業

質問 先の3月議会で「介護保険をよくする豊郷の会」の請願が議会採択され町に提出されました。町はこれを受けどう対応していますか。

安倍政権が進める社会保障費の「自然増削減」で、介護保険料・利用料の引き上げ、介護サービスの絞り込み、介護報酬引き下げなどで、特に低所得者や中間層に過大な負担を強いる介護保険制度になってきました。町独自の保険料・利用料の引き下げや減免制度の実施をすべきですが見解を。

再質問 豊郷町は低所得者が多い町で、介護3以上の認定者が町推計よりはるかに増えています。町は国の制度の枠内でいくと言いますが、全国市町村の中では、独自に保険料、利用料の引き下げをしている自治体もあります。豊郷町で安心して介護保険サービスが受けられるために町の手当てが必要ではありませんか。

医療保険課長 重度化対策は考えますが、豊郷町は国の指針に沿って粛々と運営していきます。

総務課長 平成19年度から28年度までの累計額は38億3980万5000円です。

質問 本町の特別交付税は甲良町と並び多い自治体です。そこで、伊藤町政になって平成28年度までに収入済みとなった特別交付税の累計総額はいくらですか。この特別交付税は、町が自由に使える財源であり、町民の暮らしを支える福祉・暮らしの充実にご使われるべきです。この特別交付税の用途をどのように検討されたのですか。

町長 住宅譲渡問題や地域のそれぞれの課題に向け使っています。

再質問 国は豊郷町の特別な財政需要を認め、町民一人当たりでは年約4万円の特別交付税を交付しています。県下の同和対策事業実施自治体の中で豊郷町は、すでに同和関係起債が終わっています。この財源を町民全般の医療・福祉などに使えませんか。

町民の福祉、暮らし 充実の町財政運営を 地域の課題に向け、 お金は使っていきます

最少の経費で効果が得られるよう予算編成しています。

「ご当地モノ」を活用した町のPRを

費用対効果を考えると、難しいです

質問 ①ゆるキャラを活用することで町のPRに繋がると思いますが、豊郷町のゆるキャラ「よいとちゃん」の現在の状況と今後の予定は。

②地域振興を目的としてご当地ナンバープレート（原動機付自転車、ご当地マンホールカード、ご当地出生届・婚姻届など）を実施している自治体が増えてきていますが、当町での実施予定は。

産業振興課長 ゆるキャラ「よいとちゃん」の出演依頼は減少しています。今後イベントなどへ積極的に参加し豊郷町のPRに努めていきます。

住民生活課長 ご当地ナンバー、マンホールカードの作成については、当町におきましては、費用対効果を考慮して難しいものとして認識しております。

ご当地出生届・離婚届

についても当町では考えておりません。

再質問 ゆるキャラ「よいとちゃん」ですが、ゆるキャラグランプリに平成25年度・26年度とエントリーし順位が上がってきたのに、なぜ27年度・28年度はエントリーされなかったのか。ご当地ナンバー、マンホールカードの作成について費用対効果の面で難しいと答弁されましたが、実施されている自治体は最小の投資で最大の効果があると説明されていますが、答弁を。

産業振興課長 ゆるキャラグランプリにエントリーしなかった理由は、把握していません。

ご当地出生届・婚姻届については、当町のまち・ひと・しごと総合戦略に結婚支援事業で独自デザインの婚姻届・出生届作成と計画されていますが、答弁を。



上下水道課長 マンホールカードの観光振興の面での活用について、いいことだと思うので、協議等を含めて進めていきたい。

住民生活課長 ご当地出生届・婚姻届については、県内の状況をみて検討します。

税務課長 町の走る広告塔ということもあり、ご当地ナンバーにつきましては、賛否両論ありますが、今後、滋賀県下の導入を見えすべく、検討していきたい。

ズバリ！

町政を問う

ズバリ！

町政を問う

パストラルとよさと

当施設は、平成8年に開所致しました。施設を目指すところは、ご利用者さまの自立支援に向けて、医学的管理の基、リハビリを中心とした看護やケアを提供することです。入所が100名、通所が20名となっています。

最近、特に国の方でもこの「自立支援」ということがかなり強調されている感があります。「自立支援」と言葉で言うには容易いことかもしれませんが、高齢なご利用者さまにとっては、なかなかそこも厳しい方もおられます。そこるところを

微力ではありますが、一緒に歩みながらお手伝いできればと思っています。

また、一方で、地域の方にも大変お世話になっていきます。喫茶ボランティアや夏祭りのお手伝い、花壇の整備など大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

今後共、法人の理念である「豊かな郷で心と体の健康を家族のように」を実践しながら地域へ開かれた施設運営を行っていきたく考えていますので、よろしくお願ひします。



編集後記

暦の上では立秋ですが、まだまだ暑い日が続いております。

近年、全国各地で自然災害が頻発し、多大な被害が発生しています。今年も集中豪雨による河川の氾濫や土砂崩れ、住宅への浸水被害などが多発しており、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、「とよさと議会だより」は平成12年5月に創刊されてから、皆様のおかげをもちまして第70号を発行することが出来ました。町民の皆様にはわかりやすい広報誌を目指しているところですが、第68号の発行後に3ページに掲載した辞職勧告決議案の記事の内容がわかりにくいという指摘をいただきました。今後、更に皆様にご指摘をいただきました。「議会だより」が発行できるよう、編集に努めてまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

農事組合法人 楽農ファーム吉田

「豊かな吉田の農地を守ろう」 楽しく魅力ある農業を

地域の農業、農地を放棄地にしないように地域の皆で守ろうと、平成20年1月に営農組合から農事法人楽農ファーム吉田を設立しました。

栽培面積は、29年度水稲19ha、麦17ha、黒大豆17ha、野菜0.4haをブロックローテーションで運営・経営をし、20数名のスタッフで作業を行っています。

水稲は環境にやさしく安全安心のこだわり米栽培で、濁水を琵琶湖に流さない取り組みをしています。又、地産・地消として地域で栽培した白うりは地元蔵元岡村本家に、とよ坊かぼちゃんの特産物協議会に納入しています。

集落の活性化を目的に、地域の皆さんとのつながりを大切に、毎年農業祭（コスモスフェスタ）を開催しています。

今後、栽培面積が増えたと大型機械の導入、後継者の育成と課題がたくさんあります。現在のスタッフも高齢化し農業後継者、担い手不足がこの先不安になってきており、後継者の育成が大きな課題です。

若い人達とお互いに耳を傾け意見を尊重しながら世代を超えて魅力ある農業を作り上げ、次世代にしっかりとバトンをつなぎ豊かな吉田の農地を守っていききたいと思ひます。

代表理事 辻 敏夫



広報常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 村 岸 善一 |
| 副委員長 | 中 島 政幸 |
| 委員 | 前 田 広幸 |
| | 西 澤 博一 |
| | 西 澤 清正 |

西澤 きよただ